

# 衆議院災害対策特別委員会ニュース

平成 29. 6. 9 第 193 回国会第 4 号

6 月 9 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 災害対策に関する件

- ・松本国務大臣（防災担当）、根本国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 谷川とむ君（自民）

- ・大規模災害発生時の被災地への支援物資の輸送について、東日本大震災や熊本地震で明らかになった課題を踏まえ、平時から被災地のニーズを把握して届ける仕組みを構築しておく必要があるのではないか。
- ・南海トラフ地震により原子力災害が発生した場合、政府には緊急災害対策本部に加えて原子力災害対策本部も設置されることになるが、両者の意思決定や指示系統の一元化について伺いたい。

### 津島 淳君（自民）

- ・災害時多目的船（病院船）の運用について、平時における訓練の結果明らかになった課題を踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか、伺いたい。
- ・独立行政法人国立病院機構災害医療センターについて、機能の充実・強化を図るべきであると考えているが、厚生労働省の見解を伺いたい。

### 江田 康幸君（公明）

- ・熊本地震からの復旧・復興に係る地方負担の最小化についての松本大臣の見解を伺いたい。
- ・阿蘇くまもと空港、南阿蘇鉄道、道路・橋梁等交通インフラの復旧・復興の状況と今後の見通しを伺いたい。
- ・被害を受けた宅地に対する宅地耐震化推進事業、災害公営住宅の建設等熊本地震からの住まいの再建に係る支援の内容を伺いたい。

### 荒井 聰君（民進）

- ・鉄道事業者が管理している海岸の護岸は、その海岸を通る鉄道路線が廃線となった後はどのように管理されるのか伺いたい。
- ・昨年、防災対策支援として、地方公共団体へ気象予報士を派遣するモデル事業が実施されたが、これを恒久的な仕組みとする考えはあるか伺いたい。

### 近藤 洋介君（民進）

- ・準天頂衛星システム（衛星測位システム）の防災分野における具体的な利活用方法について、松本大臣に伺いたい。
- ・高齢化等により熟練した除雪オペレーターが減少しており、除雪作業の簡易化・省力化を可能にする ICT（情報通信技術）システムの導入検討が必要であると考えているが、技術開発の状況について伺いたい。

### 小宮山 泰子君（民進）

- ・避難所等における女性や子供に対する性被害・性暴力等は深刻な問題であり、被害者の心情に配慮した対応等について現場の警察官が理解を深める必要があるが、松本大臣の見解を伺いたい。
- ・大規模災害発生時に全国から被災地に派遣される緊急消防援助隊について、資材の充実・強化が必要であると考えているが、国の支援策を伺いたい。

### 大平 喜信君（共産）

- ・土砂災害防止法に基づく基礎調査の進捗状況を踏まえ、特に遅れが目立つ広島県に対しては、国庫補助率の引上げを含めた一層の支援を検討すべきではないか。
- ・土砂災害特別警戒区域の指定促進等について総務省が勧告したことを踏まえ、防災担当大臣としても関係各省に対し働きかけをすべきではないか。
- ・地方公共団体における福祉避難所の指定状況や対象となる要配慮者の把握の状況、また、人員配置の状況等について、内閣府としても実態を把握すべきと考えるが、松本大臣の認識を伺いたい。

### 河野 正美君（維新）

- ・今般の「災害救助法による救助の程度、方法及び期間並びに実費弁償の基準」の改正では、特に仮設住宅に関する基準が大きく変わっているが、その理由を伺い

たい。

- ・大規模災害時における被災者の長期的な居住も視野に入れた新たな枠組みによる住まいの確保策を検討すべきではないか。
- ・持ち家と賃貸住宅では被災時の財産的な損害に大きな差があるにも関わらず、被災者生活再建支援法による支援に差がないのは、かえって公平性に問題があるのではないか。